

令和6年11月4日

福島県剣道連盟会長 様

普及委員会による剣道講習会実施報告

日 時	令和6年11月4日(月) 9:30~14:30
場 所	須賀川市中央体育館
剣道連盟役員 普及委員名簿及び参 加者数	副会長 山岸正和 副理事長 渡部学 渡部岩吉 会計 大橋公一 事務局 山田悦子 須賀川支部長 坂井芳晴 普及委員長 佐藤紀美夫 普及副委員長 堀川卓之 委 員 宇梶次男、柴崎裕、横田昌英、本多信弥、鈴木実、荒崇志、 緑川智則、山本祐司、林芳子、若狭淳弘 受講者：50名 小中学生協力者：22名
講習会内容	<p>9:30 剣道連盟山岸副会長からあいさつ 佐藤普及委員長よりあいさつ及び本日の受講について説明</p> <p>9:45 佐藤普及委員長講師で、普及委員会研修会・研究会で行った普及に関わる指導法について踏襲した形で、参加された受講者に「木刀による剣道基本技稽古法」の講習を行った。所作を含め礼法、構え方、刀(木刀)の持ち方、足さばき、1本目から9本目まで小中学生の協力者を基に指導を行い、合わせて受講されている指導者に自身ができるように努力し共通の指導内容を各地域で指導することを説明しながら講習を進行した。加えて幼少年指導においては、捨て身(覚悟)の心気力一致であることを伝達共有した。</p> <p>11:30 参加者全員で写真撮影</p> <p>11:30~12:10 昼食休憩</p> <p>12:10~①緑川委員により講習会資料に基づき、心法、刀法、身法について説明し、身体に力みを無くし素振りをする内容を小中学生に実践してもらった。続けて二人組となりじゃんけんし前後する足さばきの実践を行った。 ②山本委員により円筒に丸めた新聞紙を用いて、手の内の確認及び風船を使用し新聞紙で力まず風船を落とさず体育館の端まで打つ手の内確認を実施した。 ③荒委員により手の内の確認をさらに確認するべく、ものさしを使用し手の内確認。小手をつけ竹刀を持ち柄打ち実施した。加えて脱力からの正確(真っ直ぐ)に打つことを目的とし、用具を使用し打突を行った。</p> <p>13:30~14:00 全員面をつけ指導稽古を行った。</p> <p>14:10 閉講式 須賀川支部長坂井芳晴先生より受講証を須賀川支部アンダーソン恵美先生に授与。佐藤普及委員より講評をいただき終了した。</p> <p>14:30 アリーナ清掃後完全撤収。</p> <p>全員共有の講習会が実施できた。小中学生協力として郡山及び須賀川から22名が参加いただき、また、須賀川支部のご協力のもと会場を使用させていただき感謝申し上げます。</p>



山岸副会長あいさつ



佐藤普及委員長 剣道基本技稽古法指導





緑川委員による指導



荒委員による指導





山本委員による指導



指導稽古



須賀川支部長坂井先生から受講証授与



受講者全体撮影